

多くの副葬品が出土した前方後円墳
花光寺山古墳

指定区分	県指定史跡
読みかた	けこうじやまこふん
所在地	瀬戸内市長船町服部
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	花光寺と呼ばれている丘陵の上に自然の起伏を利用して作られた墳長約86mの前方後円墳。墳丘には10cm大の河原石が葺石として葺かれ、円筒埴輪が配置されている。長持形石棺が埋葬され、銅鏡、直刀などが副葬されていた。
アクセス方法	JR長船駅から車15分
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	花光寺山古墳
よみかた	けこうじやまこふん
しょざいち (所在地)	瀬戸内市長船町服部
していつひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	自然(しぜん)の丘(おか)を利用(りよう)して作られた長さおよそ86メートルの前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)です。丘の斜面(しゃめん)にはこぶしくらいの大きさの石を敷(し)いて、まるい筒(つつ)の埴輪(はにわ)を立てめぐらしています。お墓の中には、多くの品物が入っていました。